

8月1日

テーマ：バプテスマのヨハネ

せいしょかしよ ふくいんしよ しょう せつ せつ  
聖書箇所：マルコの福音書 1章1節～8節

◆今日のみことば

かれ の つた いて い 彼は宣べ伝えて言った。「私よりもさらに力のある方が、あとからおいでになります。私には、かがんでその方のくつのひもを解く値うちもありません。

マルコの福音書 1章7節

◆メッセージ

かみ こ まえ じゅんび ひと く きゅうやく  
神さまは、イエスさまが来られる前に、まず、その準備をする人が来ることを、旧約  
せいしょ おし  
聖書で教えてくださっていました。それが、バプテスマのヨハネさんです。



このヨハネさんは、とっても変わった人でした。荒野に住んでいました。そして、6節のヨハネさんの姿を見ると、とても元気です。「らくだの毛で織った物を着て、腰に皮の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた」と書いてあります。荒野にいても、守られていました。ヨハネさんは、荒野で叫んでいました。「悔い改めなさい」と。そして、ヨルダン川でバプテスマ（浸すこと）を授けていました。だから、バプテスマのヨハネさんと呼ばれていたのです。

「悔い改める」とは、「方向を変える」ということです。ヨハネさんは、「あなたがたが今まで生きてきた道から方向を変えましょう。『自分の思い通りにしたい、神さまなんかいない』と言って、神さまに背を向けて歩んでいないで、自分の道を、神さまの方向に向きを変えて生きていきなさい。そして、向きを変えたことをあらわすために、バプテスマを受けなさい」と言いました。

これが、イエスさまの道を整えることでした。

たくさんの人々が、ヨハネさんのもとに集まってきました。まるで、ヨハネさんが心をきれいにしてくれるように思われてしまいました。でも、ヨハネさんはこう言いました。「力ある救い主が、こられます。私は、その方の奴隷にもなれない小さな者です。」と、イエスさま

のことを紹介しました。ヨハネさんは、悔い改めははっきりと語りました。でも偉そうにはしないで、とっても謙遜な人です。私たちも、このバプテスマのヨハネさんのように、謙遜でイエスさまの素晴らしさを紹介する人に、伝える人になりましょう。



◆お祈り

「バプテスマのヨハネさんのようにイエスさまの素晴らしさを紹介し、伝える人になれますように守り導いてください。」(町田キリスト教会牧師 鈴木聖仕)